

2018年度 中川学区の暮らし再発見プロジェクト 活動記録集 Vol 4

若いパワーを地域に

数年前から地域を訪れていただくようになり心強く感じています。近年災害が頻発し、高齢者を始め地域住民にとっては不安が増すばかりです。住民同士の一層の交流やつながりの重要性を改めて感じるところです。そのような中、夏祭りや社会福祉協議会の健康ふれあいクラブなどの取り組みに参加協力いただいていること、また、独自のサロン活動などにも取り組んでいただいていること、心より感謝しています。引き続き若者パワーで中川学区に関わっていただけることを期待しています。



清水哲夫

笑顔が笑顔を紡いでく・・・

今年度卒業を迎える四回生のみなさん、本当にお世話になりました。みなさんが一回生の頃、真弓地区を案内したことが、ほんの昨日のようにも思えます。

それから四年。新しい学生達も中川学区に係わって頂き、関係性が繋がっていくことの大切さを楽しみ感じています。

これからも、住民と学生の笑顔が紡いで行く穏やかな日常を、大切にしたいと思います。今後とも、宜しくお願い致します。



水田隆一

2018年度 年間活動

- 4月11日中川学区[健康ふれあいクラブ]
- 5月16日真弓地区[And house.うちわ作り]
- 6月2日・3日中川地区[まんま茶プロジェクト]
- 6月13日中川地区[健康ふれあいクラブ]
- 7月4日中川地区[And house.うちわ作り]
- 7月22日真弓地区[清掃活動]
- 8月14日中川地区[北山夏祭り]

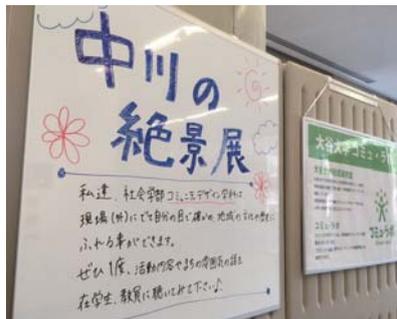


(写真は中川写真展で使用したものの一部です)

写真展

第1回 8月4日～5日 大谷大学オープンキャンパス

「中川の絶景」をテーマに地域の方々の何気ない暮らしや、普段行くことのできない場所を撮影し、展示しました。これまで私達が見てきた中川の姿を、高校生や保護者の方々に知ってもらう機会となりました。これからも少しでも多くの人に発信していきたいです。



- 9月12日中川地区[健康ふれあいクラブ]
10月25日真弓地区[And house.スノードーム作り]
11月3日杉阪地区[お火焚]
12月2日真弓地区[お火焚・清掃活動]
12月6日中川地区[And house.リース作り]
12月12日中川地区[健康ふれあいクラブ]
12月20日真弓地区[And house.リース作り]



第2回 11月17日～18日 <大谷大学 紫明祭>

京都北山丸太生産協同組合 理事長の森下武洋さんのご好意で、北山杉のコースターの展示も行いました。



まんま茶

中川では昔からきつい山仕事の重要な水分補給の方法として、自家栽培のお茶が飲まれてきたと聞いています。

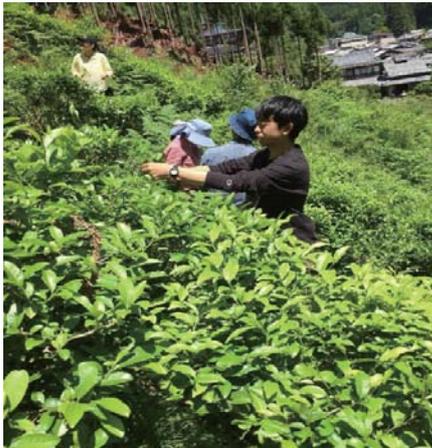
そのお茶の歴史は古く、中国から栄西が伝えた種に近いとも言われています。

現在では自宅でお茶を栽培し、摘み、飲む習慣はほとんどのお宅でなくなっているようです。

古から飲まれてきた中川のお茶であることから「まんま茶」と名付けられたお茶。自治会長の清水さんのお宅で栽培されていました。

清水さんのご行為で、栽培されているお茶を分けていただき、お茶づくりの体験をしました。

また、大谷大学ではそのお茶を再生させ、伝統をつないでいきたいと願い、2015年から大学内でまんま茶の育成を行っています。今年初めて、育った苗木を中川の土地に植栽しました。



6月2日と3日 中川でお茶作り

昔ながらの手法を再現。摘む、選別、蒸す、干す、揉む、炒るという工程を全て手作業で行いました。

中川の土地はどこも急斜面。もちろんお茶の畑も急斜面です。

足元が不安定の中、手作業で新茶を摘み取る作業は大変な労力でした。

林業の変化は生活も変化させています。現在このような作業が無くなっていると伺いました。

「まんま茶」をきっかけに、地域の方から中川の暮らしを伺う機会となりました。

11月の学園祭でふるまった「まんま茶」。多くの方に「おいしい」との声をいただきました。

道風神社お火焚祭り

杉阪にある小野道風をおまつりしてある道風神社では、毎年11月3日にお火焚き祭が行われます。この祭りに参加をし、地域の方に杉阪の暮らしを伺いました。多くの方が、年々住民が減少し、祭りの参加者が減っていくことが寂しいとおっしゃっていました。しかし、知る人ぞ知るこのお祭り。市内の大学生がうわさを聞きつけひょっこり見学に来られていました。



And house. ～中川・真弓でのサロン活動～

今年から新たにスタートした
And house.
1年を通じて地域の皆さんと学生が一緒
にゆったりと物作りを進めました。

「うちわ作り」 (真弓5月、中川7月)

地域の人々の方々と一緒にうちわ作りを行いました。このように一緒にものづくりをすることでコミュニケーションをとることのきっかけとなりました。4年目を迎える真弓では就職のことや卒業のことなど、学生に声をかけていただきました。また、四季を通じた花や鳥、昔の年中行事、真弓だけの方言なども聞くことができました。

「スノードーム作り」 (真弓10月)

10月には、真弓地区で地域の方々と一緒にスノードーム作りを行いました。細かい作業などは学生が手助けをしながらオリジナルのスノードームを製作しました。



「クリスマスリース作り」 (真弓12月、中川12月)

12月には真弓地区、中川で地域の方々と一緒にクリスマスリース作りを行いました。



中川社会福祉協議会の皆さんとともに一ふれあい健康クラブへの参加ー

ふれあい健康クラブは中川社会福祉協議会が実施する高齢者の健康づくりの取り組みです。毎月第一水曜日午前には実施されています。今年はそのうちの4月、6月、9月、12月の取り組みに参加しました。

・2018年4月（お花見）

京都府立植物園にてお花見をした後、大谷大学にて昼食会をしました。2回生は初対面でしたが、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を楽しみました。



・2018年6月

昔の行事やお祭り、花や鳥など思い出を出し合い、歌を作りました。昔たくさん咲いていたササユリの「花」や独特の「方言」、納豆餅などの懐かしい食べ物などを教えてもらいました。

・2018年9月（敬老の日を祝う会）

皆んなでコースターを製作したり、絵はがきを書いたりと手作業に集中。物作りの楽しいひと時をすごしました。また、6月のふれあい健康クラブで作った歌詞の歌が完成し、みんなで大合唱しました。



・2018年12月（スノードーム作り）

クリスマスパーティを兼ねた手作りのスノードーム作り。サンタの衣装などを見にまとい、楽しく手作り。おいしいケーキもいただきました。「こんな家ではしやへんな」とポツリ。改めて皆んなでワイワイの大切さに気付かされました。

4年ぶりに夏祭り開催!!

今年は8月14日中川小学校で夏祭りを開催しました。私たちは夏祭りのお手伝いで参加させていただきました。大谷大学からはストライクアウト,わなげ,バスケットボールのゲームをもって行き、子どもたちはとても楽しくゲームをしていました。子どもたちの笑顔に私たちも元気が出ました。夏祭り当日は普段見かけることのない小さい子どももたくさん来ていました。

出店が出たり、ステージでの音楽ライブもしました。

4年あいてしまった夏祭りですが地域の皆さんの笑顔がすごく印象的でした。中川の唄でよりいっそう団結感が出たと思います。そして中川消防分団のみなさんの花火もきれいに上がりました。



真弓での清掃活動

7月と12月の2回にわたり、真弓での清掃活動を行いました。

4キロ以上ある道を真弓の方々と学生が、道路に落ちている枝木や葉っぱの清掃を行いました。協力したことで学生と地域の関係が深まった活動になりました。



中川の冬景色



編集後記

2015年から始まった中川での大谷大学の活動も今年で4年目を迎えました。

伝統ある優れた産業を守り伝えてきた地域であり、昔ながらの家屋・風景、由緒ある神社や仏閣。そこにはどこか懐かしく感じる生活文化が存在しています。しかし、そこで暮らす事は決して楽ではありません。

改めて、一年を振り返ると、活動を通じて聞いたこと見たことは、これからの自分たちの将来にも通づるものがあると感じています。しっかりと話は聞けていたでしょうか、見えていない所はなかったでしょうか。学生として気を抜くことなく、喜びや楽しみをもって地域の方々との繋がりを深めていけていたのか。

まだまだ不十分かもしれません。一步一步確かな中身をこれからも築いていかななくてはと感じます。

編集責任者：橋本耕平 来田村遼太郎

「中川学区の暮らし再発見プロジェクト」

2019年2月 発行

編集:大谷大学地域連携室 コミュ・ラボ

発行:大谷大学 And House. + 志藤ゼミ



本事業は「北区まちづくり提案支援事業」の助成を受けています。